

青木村子どもはつらつネットワーク通信

令和元年度 第167号 8月1日

青木村子どもはつらつネットワーク事務局発行

今年度から信州型自然保育（青木村型やま保育）の取り組みが始まります。5月27日に保育園の全職員で、やま保育を実践している伊那市立美鶯^{みすず}保育園へ研修に行きました。その様子を若林園長先生にお伝えして頂きます。



保育園職員研修

「伊那市立美鶯^{みすず}保育園を訪問して」

青木村保育園 園長 若林喜信

5月27日伊那市立美鶯^{みすず}保育園を保育士研修のため訪問させていただきました。

いま、長野県は「豊かな自然と温かな地域の中で子ども達の“人生の根っこ”を育む」自然保育に力をいれています。今回研修をさせていただいた伊那市は、この信州型自然保育（やま保育）の認定を8園が受け、自然と地域資源を活用した保育を実践しています。昨年10月青木村保育園も信州型自然保育の認定を受け、今年4月より本格的に取り組みを始めました。

「やま保育では、その環境を保育にどのように生かしていけば良いのか、また保育の場の環境設定はどのように行えば良いのか」が研修のテーマでした。

美鶯^{みすず}保育園は、定員150名「きらきらなかよし保育園」の愛称で伊那市の中央に位置し、小学校や図書館、役所の支所などが近くにある静かな環境の中にあります。すぐ裏手の山は子ども達の冒険の場、発見の場、自然との触れ合いの場として、恵まれた遊びの環境にかこまれています。今年5月には長野県から南信地区におけるフィールド研修モデル園の指定を受け、保育士の研修の場としても位置付けられました。やま保育の実践とともに、保育士の質の向上にも力を入れている保育の先進地です。

園目標に「自然と関わりながら意欲的に遊ぶ子ども」「相手のことを思いやり自分も





大切に子ども」「自分の思いや感じたことを表現し相手の話を聴ける子ども」をかがね地域との交流も積極的に行っています。

園にうかがった時、目を引いたのは園庭の中ほどに植えられたイチヨウと白モクレンの大木です。園のシンボルツリーとして大切にされているそうです。春には白モクレンの花を見上げ、夏にはその木陰で色水造り遊びをし、秋には落葉を

使った砂遊びなど様々な遊びを通して四季を感じ、自然への関心と興味を子ども達に与えてくれる大切な木は、暑い日でしたので気持ちの良い木陰を作ってくれていました。

「午前は自由に保育の状況を見てください。午後質問や意見交換を行う時間をおとりします。」との園のご好意に感謝した後、園の概要について説明をお聞きし早速園庭に出ってみました。

園庭では思い思いの遊びが始まっていました。足元を見れば多くの園児が裸足で活動しています。裸足の理由はすぐに解りました。泥水遊びには裸足が一番です。

水を園庭に運ぶため丸太や樋を利用して水路を作っていました。でも水を遠くまで導くためには工夫が必要です。皆で考え協力し合いながら運ばれた水と、力を合わせて造った堤でたちまち園庭に長い川ができあがりました。

目的を達成するために知恵と力を出し合うこと、与えられたもので遊ぶのではなく遊びを考え作り出していくこと、その中で友達の絆や連帯感、相手を思いやる気持ちが芽生え、それらが人生の根っこを育てることにつながる。やま保育の目指しているものがこの川造りの遊びのなかに少し見えた気がして、近くにいた保育士さんに問いかけると、「試行錯誤して成功した喜びは次の活動への原動力になる」とのお答えでした。

遊びを与えるのではなく、遊びを創造することができる保育環境の整備について考える機会となりました。

午後の研修では午前の保育参観を通しての質問や感想など、やま保育に限らず保育全般についての情報交換がなされこれも貴重なものとなりました。



～研修での学び：職員皆で同じ保育を見ることにより、多くの学びがありました～

- 子ども達がすぐ遊びに入れるような環境設定（木の实やリースなどの手作りの置物）のあり方。
- 家庭で捨ててしまうような、容器や花などを保育に生かしている。
- 園庭すべてに遊びを見つけられるコーナーの様な場ができています。
- 全体を通して保育士の指示語がなく、必要最低限の言葉掛けで子ども達が自ら動ける姿が素晴らしい。
- 自ら遊びを見つけ、遊び込める姿があるためトラブルなどなく良く遊べる。
- 園庭内で虫・畑・花などの観察が自然にできる環境など、できる所は取り入れてみたい。
- 木陰があり、暑い日も快く過ごすことができる。
- 廃材や丸太・樋などの有効利用。
- 昼食の時間については家庭との時間差をできるだけなくし、調理仕上がりから食べるまでの時間をできるだけ短くする工夫。



などの多くの気づきがありました。

また、食育についても保育の大切な分野としてじっくり意見交換をさせていただきました。食物アレルギーに対応したメニュー作りや、管理体制など多くを学ばせていただきました。後日研修をヒントに職員で話し合い、ホワイトボードを利用した給食配膳の確認表を作成し、毎日変わるクラスごとの食数管理やアレルギー食の確認に役立てています。

美^み篤^{とく}保育園は外遊びをととても大切にしている園でした。朝からお昼まで夢中になって泥と遊ぶ中で、子ども達自身が工夫したり協力したりして遊びを展開していました。遊んだ後はお腹いっぱい給食を食べ、ぐっすりお昼寝、おらかな見守りの中たくましく遊ぶ子ども達の姿に触れ、これからの青木村保育園の遊びについて考えさせられる機会となりました。研修で得てきたことを共有しながら、今後の保育に生かしていきたいと考えます。

クラス	在籍	居	お	職員AN	PM	その他
さくら	24	24	3			
ひまわり	12	10	2			
ばら	12	11	2			
すみれ	11	11	2			
つくし	11	9	2			
たんぽぽ	6	6	2			
あかり	9	8	3			
ひよこ	9	8	3			

終わりに、研修の受け入れにあたりご配慮いただきました伊那市美^み篤^{とく}保育園の皆様にご感謝申し上げます。

そして今回の研修は保育園を休園させていただきました実施させていただきました。利用者の皆様には大変ご迷惑をお掛けいたしました。おかげさまで多くの職員が研修に参加することができましたことに感謝を申し上げます。

はつらつ先生 IN あおき

今回は、青木中学校3年A組担任 板花 啓太 先生です。

- 好きな食べ物…納豆。好きで健康的なので毎朝酢を入れて食べてます。ラーメン。とんこつが好きでしたが今は醤油のあっさり系が好きです。

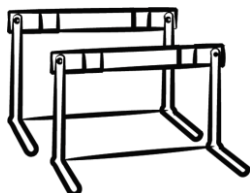


- 苦手な食べ物…レバー。給食のレバーは美味しいので食べられます。カニは、苦労した割には味が見合っていない気がします。



- 趣味…松本山雅の試合観戦。前の学校でサッカー部の顧問になった時に試合を観に行きファンになりました。

- どんな子どもでしたか？…担任の先生に「もっと悪いことをしていいんだよ」と言われるくらい真面目！でした。外遊びが好きで、一つのことに没頭するタイプでした。小学校低学年の時にサッカー、バスケット、野球をやりました。高学年で陸上を始めました。それからずっと陸上部です。中学からは400mハードルを本格的に始めました。社会人になって2年目までやっていました。



- 先生にならなかつたら？…スポーツに関わっていたいで、スポーツメーカーに勤めていたと思います。(弟さんはスポーツメーカーのミズノで開発をしています。) 中学の時から教員になりたかったです。影響を受けたのは、高校の担任の先生で、一人ひとりをよく見てくれていました。信大の教育実習はとても大変でした。

- 好きな有名人は？…今田耕司さん。司会が上手で、ゲストのペースに合わせて盛り上げてくれるところがすごい。為末大さん。コーチをつけずにトレーニングをする先駆者。2020年のオリンピックでは400mリレーが楽しみです。

- お休みの日は何をしていますか？…部活(バレー部の顧問)。奥さんには家で休んでもらって子どもを連れて公園に遊びに行きます。子どもをお風呂に入れるのが毎日の日課です。



編集後記 青木保育園では、今までもあおきっ子広場などで外遊びを中心にした遊び込みをしています。さらにやま保育の実践で自然の中で育まれる生きる力を身につけてたくましいあおきっ子に成長してもらいたいですね。